



夏を思う

八月も終わろうとするこの時にいつも思う
もう少し やるべきことをやれたのではないか
もう少し ハチャメチャに夏を楽しめたのではないか
つかみきれずに過ぎ去る夏へのノスタルジア
それは 若い頃のことを思う
気持ちに似ている
でも
若い時代は
もう二度と来ないけれど
生きている限り
また 夏は来る
来年こそはと
こりもせず 思い描く
夏の終わり



ふり返りプリント



左のグラフは、6月のふり返りプリントを翌月の7月中に提出した塾生の割合を示しています。最も高かったのは岩松教室で97.4%でした。また、保護者欄記入率は、現在の時点（8月末）で92%で、昨年度よりはるかに高く、ありがたく思います。鶴島、三間、岩松教室は100%でした。ふり返りプリントは、必ず保護者の方に見ていただいて、翌月中には提出をしましょう。

夏休みの思い出

夏休みの出来事で心に残ったことを塾生に書いてもらいました。今回は三間・明倫・岩松教室の3人の作文を紹介します。

三間教室 中学1年生

私は、8月2日に「吹奏楽コンクール」に参加しました。私は、チューバとして、参加人数が20人までの「中学生部門」に出場しました。三間中学校の吹奏楽部の人数は20人なので、みんなで参加するのはぎりぎりでした。顧問の先生が、「みんな頑張ってきたから」ということで、20人全員で「丘の上のレイラ」という曲を、大きなホールで演奏すると言ってくれました。

それから、1日練習や5回連続の通し練習などを行い、とても大変で部活をやめたくなった時もありました。だけど、「金賞をとりたい」という気持ちで、難しいと言われたところも吹けるように努力しました。

本番の前に、他の学校の演奏を聴いていると、「私には無理かも」という暗い気持ちになってしまいました。けれど、本番ではあまりミスをせずに演奏ができて、「金賞をとることができるのでは」と思いました。しかし、結果はあと1点で銀賞になる銅賞でした。とても悔しかったけど、審査員の一人が、10点満点中9点をくれたり、他の学校の先生が「あの演奏が銅賞は信じられない」と言っていたのを知り、少し嬉しくなりました。

この経験を通して、これからは基礎を固めて、1発できれいな音が出るようにしたり、結果だけじゃなく、演奏を聴いた人がどう感じたかなどを大切に練習していきたいです。



私が心に残っていることは、夏休みに入ってすぐ行われた**水泳大会で一位**を取れたことです。得意なバタフライで結果を残せたことは、大きな出来事になりました。

心に残る出来事はまだあります。二つ目は、学校レクリエーションで**お泊まり**をしたことです。友達とお泊まりをしたのは初めてで、とてもワクワクしました。

三つ目は、家族で**大分旅行**に行ったことです。二泊三日で行って、一日目はうみたまご、二日目は杉の井プール、三日目は美術館に行く予定でした。二日目までは順調でしたが、三日目に大雨警報が出されました。残念ながら、美術館に行く予定はなくなり、しゅしゅが帰りました。ですが、私が行きたかったプールは行けたので、うれしかったです。旅行中の**悪天候も一つの思い出**になりました。

今年の夏休みは、とても楽しい夏休みでした。



私の夏休みに一番心に残ったことは、町内で行われた**夏祭り**です。夏休みに入り、なかなか外出する機会がなかったので、とても楽しく感じました。夏祭りでは、友達と浴衣を着て、出店をまわりました。夏ならではの食べ物や舞台で行われた公演などで、お祭りはどんどんぎわっていきました。普段味わうことのできない楽しさに夏を感じました。

お祭りの終盤にさしかかると、花火が上がりました。どの花火も綺麗で、心に響きました。夏祭りはあつという間に終わってしまい、少し寂しく感じました。

来年、高校生になっても、夏祭りに参加したいなと思います。今度は、毎年夏祭りを支え、サポートしてくださいと思っている方々の立場になって、町内を盛り上げていきたいなと思えました。

